執筆者一覧 (名字五十音順)

相原由奈	東京外国語大学大学院博士後期課程
新井悠子	同 大学院博士後期課程
イプロヒモワ・ズライホ	同 大学院博士後期課程
エン・シンキョク	同 大学院博士後期課程
小田原滯	同 出版会
小田原琳	同 大学院総合国際学研究院
小美濃彰	同 大学院博士後期課程
川本智史	同 世界言語社会教育センター
金富子	同 大学院総合国際学研究院
Yuxi GUO (郭語汐)	同 大学院博士後期課程
郡昌宏	同 大学院博士後期課程
紺谷南	同 大学院博士前期課程
佐藤ひとみ	同 大学院博士後期課程
武内進一	同 現代アフリカ地域研究センター
田邊佳美	同 世界言語社会教育センター
内藤千珠子	大妻女子大学文学部
中辻柚珠	京都大学大学院文学研究科博士後期課程
中野敏男	東京外国語大学名誉教授
永野杏奈	同 大学院博士前期課程
中山智香子	同 大学院総合国際学研究院
名合史子	同 大学院博士前期課程
ファン・ジュンリャン	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校人文学部
早川卓亜	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 ジュニア・フェロー
松枝愛	同 大学院博士後期課程
守田まどか	同 アジア・アフリカ言語文化研究所
森川麗華	同 大学院博士前期課程
山内由理子	同 大学院総合国際学研究院
渡邊啓太	同 大学院博士後期課程

編集後記

クアドランテ 25 号をお届けします。

新型コロナウイルスが蔓延し始めた 2020 年 2 月頃から、ちょうど 3 年余り経ちました。多くの高齢者をはじめ身体が弱い方々に犠牲が出るとともに、社会的に弱い立場の人々が、生活困難な状況に陥りました。

加えて、2022 年 2 月 24 日のロシアによるウクライナ侵攻は、多くの市民を巻き込みながら、ウクライナ、ロシア双方の多数の若い命を奪うことになり、戦いは現在もまだ続いています。歴史的な大きな出来事に直面し、その渦中に身を置きながら、いま自分にできることは何かを考え、たとえ一人一人の声や力は小さなものであっても、諦めることなく訴え続けることの大切さを感じています。

クアドランテの特集は、現代社会が抱える問題に寄り添いながら、それを学術的に考え、発信していくメッセージが込められています。若手研究者を中心に投稿された個々の論考は、厳しい査読を経ることで、きちんとした学術的な成果にまとめあげられています。

ところで、海外事情研究所では、コロナ禍により、思うように研究会を開くことができませんでしたが、2022 年度は、オンラインのメリットを活用して、ランチョン研究会を定期的実施することにしました。新たに所員となってくださった先生方に、自己紹介を兼ねて、ご自身の研究内容を 30 分以内でご報告していただき、同僚として、お互いの研究内容を理解し合うという、とても有意義な時間を共有することができたと思います。

東京外国語大学は、2023 年 11 月、明治 6 (1873) 年に東京外国語学校として設立されてから 150 年目を迎えます。海外事情研究所は、1949 年に新制大学として東京外国語大学が発足してから 5 年後、1954 年に外国語学部の附置機関として設立され、2023 年で 69 年を迎えます。この長い歴史の重みに敬意を払いつつ、海外事情研究所の活動を進めさせていただきます。

2023 年 3 月 26 日 蒲生慶一先生の命日に

(海外事情研究所長 吉田ゆり子)